

## 施 工 証 明 書

&lt;お客さま&gt;

様

当社が施工いたしました電気設備について、関係諸法令に適合した施工であることを証明いたします。

サービス区		お客さま番号		契約種別		申込種別				
[施工電気工事店]										
証 明 者	所在地：		電話番号：		登録（届出）番号		印			
	[主任電気工事士] 氏名		氏名		免状No.					
	氏名		氏名		免状No.					
	第一種・第二種 免状No.		氏名		免状No.					
証 明 設 備	契約種別	電灯・電力・深夜・臨時		契約容量		電気方式				
	工事種別	新設・増減設・変更・その他				相 線式 V				
	お客さま (被証明者)	市 郡				氏名				
	所在地 (住所)	市 郡				電柱No.				
	工事着工	年 月 日		工事完了	年 月 日		送電	年 月 日		
								仮送電	年 月 日	

※証明する設備の範囲は、別添の設計図(配線図)に示す電気設備です。

自主点検		お客さまへの引き渡し前に、電気設備の技術基準（省令）に沿った設備であることを以下の通り確認いたしました。						
点 検 項 目		結 果		点 検 項 目		結 果		
1	絶 縁 ( 配 線 )	回路の絶縁抵抗は十分か		6	配 線 器 具 ( 材 料 )	必要箇所に漏電遮断器を取付けてあるか		
2	絶 縁 ( 機 械 器 具 )	機械器具の絶縁は十分か				漏電遮断器のテストをしたか		
3	配 線 ( 屋 内 配 線 )	使用電線は適切か		7	配 線 器 具 ( そ の 他 )	漏電遮断器の取付は適正か		
		配線方法は適正か				モーターの保護装置は適正か		
		充電部が露出していないか				開閉器の容量、取付方法は適正か		
4	配 線 ( そ の 他 配 線 )	電線と他物の離隔は十分か		8	接 地 工 事	充電部が露出していないか		
		ラス・トタン貫通部の防護は十分か				器具は破損していないか		
		使用電線は適切か				器具は正しく取付けられているか		
		配線方法は適正か				接地は取付けてあるか		
5	コ ー ド 配 線	充電部が露出していないか		9	そ の 他	接地線の保護等工法は適切か		
		電線と他物の離隔は十分か				接地抵抗値は適切か		
		ラス・トタン貫通部の防護は十分か				引込小柱の施設は適切か		
5	コ ー ド 配 線	屋内配線にコードを使用していないか		10	端 子 締 付	単三開閉器類の端子締付けは良いか		
点検実施者		点検実施年月日		絶縁抵抗値 測定記録		設計図当該箇所に直接記入		
		年 月 日						

※自主点検は電気工事業法による規制はもとより、施工時の見落とし作業、手直し作業の防止を図り、工事品質を向上させるために行っております。

お客さまが電気設備を新設、変更したときには、北陸電力送配電または国に登録された調査機関が、電気事業法（57条他）に基づき、電気設備の技術基準に適合しているか調査します。  
調査の結果は、「お客さま電気設備安全調査のお知らせ」に記載されております。

施工証明書受け取りご確認			
建築会社・工務店さま（ご署名）		年	月 日
お客さま（ご署名）		年	月 日

※この証明書は、「電気工事業の業務の適正化に関する法律」による帳簿を兼ねます。（5年間保存）